

## 夢 に向かいスタートをきった アカデミー8期生



▲アカデミー8期生

福島県から一時的に拠点を御殿場市に移している「JFAアカデミー福島」は4月5日、静岡県御殿場市で入校式を開催しました。多くの方が見守る中、8期生21人が本拠地・福島への思いを胸に、夢に向かいのスタートをきりました。



▶入校式での記念写真

## 原 発事故収束に向けて 抜本的な安全管理体制を



▲要求書を手渡す山田町長（中央）と鈴木議長（右）

山田町長は、4月17日、東京電力株式会社に対し、緊急要求書を提出しました。  
今回の緊急要求書は、東京電力福島第一原子力発電所の相次ぐトラブルにより、多くの町民が不安をいただいていることから、原発収束に向けて場当たりの対策ではなく、抜本的な安全管理体制を構築することを強く求めるものです。

## 実 習棟での調理実習



▲実習棟での授業の風景

中学校全生徒による調理実習が4月19日、中学校実習棟で行われました。

木の温もりが感じられる新しい実習棟での初めての本格的な授業。生徒たちは笑顔で調理実習に臨みました。



▶みんなと協力しながらの調理

## 水 稲作付・管理・出荷に 係る説明会を開催



▲水稲作付・管理・出荷に係る説明会の様子



米の全量生産出荷管理区域における水稲作付け・管理・出荷に係る説明会が4月7日、公民館で行われました。この日は、平成25年度産米の作付けを予定している110戸の農家のうち53名が参加し、町の担当者などから、国より広野町が指示を受けた全量生産出荷管理区域の概要や、放射性セシウム吸収抑制対策についての説明がありました。

「全量生産出荷管理区域」で水稲作付けを行うには、放射性セシウム吸収抑制対策として農地にカリウム資材を散布することが義務づけられており、町・JFAが水稲作付け農家へ配布した塩化カリウムの散布が、4月中旬ごろから農家により行われています。

今年度は、震災前の水稲作付面積約200ヘクタールのうち、約110ヘクタールで作付けが予定されており、農家のみなさんは吸収抑制対策を確実に実施し、「安全でおいしい米作り」への意欲を燃やしていました。

## 春 季検閲 防火の誓いを新たに



▲春季検閲の様子

広野町消防団ならびに婦人消防隊春季検閲が4月14日、広野町中央体育館で行われました。

検閲では、消防団員、婦人消防隊員によるきびきびとした通常点検・機械器具点検が行われ、日ごろの訓練の成果を披露しました。小隊訓練では、規律ある動作に拍手が送られ、消防隊員および婦人消防隊員は、万全の消防体制を確認するとともに防火の誓いを新たにしました。

## 自 衛官募集相談員へ委嘱状を交付



▲川崎さん（左）に委嘱状を手渡す山田町長（右）

自衛官募集相談員の委嘱状交付式が4月15日、広野町役場で行われました。

山田町長と自衛隊福島地方協力本部中村本部長が川崎一さんに委嘱状を交付しました。

委嘱の期間は、2年であり、ボランティアで自衛隊志願者に関する情報の提供、学校への募集協力の促進、自衛隊の広報活動に対する支援などを行っています。